

# 総務企画委員会会議記録

総務企画委員長 麻生 栄作

## 1 日 時

平成28年3月25日（金） 午後0時03分から  
午後0時12分まで

## 2 場 所

第4委員会室

## 3 出席した委員の氏名

麻生栄作、大友栄二、志村学、木田昇、戸高賢史、桑原宏史

## 4 欠席した委員の氏名

藤田正道

## 5 出席した委員外議員の氏名

なし

## 6 出席した執行部関係の職・氏名

なし

## 7 会議に付した事件の件名

別紙次第のとおり

## 8 会議の概要及び結果

- (1) 麻生栄作委員を委員長に互選した。
- (2) 大友栄二委員を副委員長に互選した。
- (3) 閉会中の継続調査について、所定の手続をとることとした。
- (4) 初委員会について、4月7日（木）午後1時から行うことに決定した。
- (5) 委員会の年間重点テーマについて、県内所管事務調査・県外所管事務調査の調査先等について及び招致する参考人の希望について協議した。

## 9 その他必要な事項

なし

## 10 担当書記

議事課委員会班	課長補佐（総括）	井上薫
政策調査課政策法務班	副主幹	礒崎香織

# 総務企画委員会次第

日時：平成28年3月25日（金）本会議休憩中

場所：第4委員会室

1 開 会

2 委員長の互選

3 副委員長の互選

4 協議事項

- (1) 閉会中の継続調査について
- (2) 初委員会の日程について
- (3) 委員会の年間重点テーマ等について
- (4) その他

5 閉 会

## 会議の概要及び結果

〔事務局が、年長委員を紹介〕

**志村臨時委員長** 委員会を開くに当たりまして、委員長が決まるまでの間、委員会条例第7条第2項の規定により、年長であります私が委員長互選の職務を行います。

ただいまから、本日の委員会を開きます。

委員長を決めなくてはいけません、互選のことですが、指名推選でよろしいですね。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**志村臨時委員長** では、指名は私に一任していただいてよろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**志村臨時委員長** では、委員長に麻生栄作委員を指名いたしたいと思います。よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**志村臨時委員長** 麻生栄作委員が委員長に選任されました。

では、麻生委員長、よろしくお願いします。

〔委員長就任挨拶〕

**麻生委員長** ただいまから、副委員長の互選を行います。

お諮りいたします。

互選の方法につきましては、指名推選による方法と、投票による方法がありますが、いかがいたしましょうか。

〔「指名推選」と言う者あり〕

**麻生委員長** 指名推選という声がありますので、互選の方法は、指名推選によることと決定いたしました。

お諮りいたします。

指名の方法につきましては、私から指名することにしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**麻生委員長** ご異議なしと認めます。

よって、私から指名することに決定いたしました。

副委員長に大友栄二委員を指名いたします。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

**麻生委員長** ご異議なしと認めます。

よって、大友栄二委員が副委員長に選任されました。

副委員長より、ご挨拶をお願いいたします。

〔副委員長挨拶〕

**麻生委員長** 次に、閉会中の所管事務調査の件について、お諮りいたします。

お手元に配付のとおり、各事項について閉会中の継続調査をしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

麻生委員長 ご異議がないので、所定の手続をとることにいたします。

次に、初委員会の日程についてですが、各委員と事前に調整した結果、4月7日午後1時から開催いたしますので、よろしくお願ひします。

次に、別紙の総務企画委員会資料に沿って協議をお願いします。

まず、総務企画委員会所管の執行部事務分掌を、1ページから7ページまでお手元に資料として添付しておりますので、所管の内容についてご一読いただきたいと思ひます。特に、県外所管事務調査や県内所管事務調査について、意外と意識のない部分についてマーカーとつけています。また、皆さんそれぞれで、この辺は意外と気づいていなかった、この辺はどうだろうかという調査項目等々の参考資料としていただければ幸ひであります。

次に、3の県内所管事務調査についてです。

調査日については、できるだけ調査予定日をお願いをしたいということで、お手元に素案を配付しておりますので、ごらんください。

ただし、これまでもそうでありましたが、本来、各委員が問題認識を持っているところと、執行部の事業成果があったところのPR、そんなところは行かなくともいいよという声もあったかと思ひますので、これはあくまでも素案であると。

ただし、どこそこ方面の日程は、こういったことだということでご理解をいただき、お手元の委員会資料の8ページに先ほどの事務分掌を含めて、委員任期は1年間となっておりますので、委員会として1年間、特に重点テーマ、こういった部分について取り組んだらどうだろうかといったことについて、案をお出しいただければと思ひます。

例えば、私が1番下書いているんですが、国民文化祭が2018年にある、2019年にラグビーワールドカップがある。それに向けて離島から山村に至る県内隅々まで、それをどうやって成功に向けて参加意識を持って盛り上げるかといったような視点で行えばいいのかなというようなことも含めて記載をさせていただいております。

そして9ページには、先ほどの県内所管事務調査、各委員の皆さん方から、こういったところに行きたいとか、こういったテーマについてぜひ見たいと。基本的には、これは素案でありますけれども、各委員の皆さんの選挙区には、必ず1カ所くらいは希望に沿って行ければと思っておりますので、入ってないところが実はございます。特に、普通は調査は6日なんですけど、中部振興局管内の臼杵とか津久見とか大分市の野津原、佐賀関が入ってないもんですから、これにもう1日プラスせざるを得ないという気もいたしております。そういった日程調整も含めて、事務局にお願いしておきたいと思っております。8ページ、9ページについては、初委員会の少し前までに事務局書記にお出しいただければ幸ひであります。

それから10ページの県外所管事務調査については、こういったものについて参考として調査したいということ。

11ページには、参考人招致をいろいろするといったことで、例えば国東市。自治体として基金運用とか財政運営を上手にしていらっしゃる。そういったところに県内調査に行ってもいいし、ここに参考人招致で呼んでもいい。例えば、県内の美術館、公立美術館、私立も美術館とつく館長さんと呼んで国民文化祭に備えるとか、あるいはラグビー協会の方を呼んでラグビーワールドカップについての準備状況を聞くとか、こういった部分につ

いても皆さん方のご意見を、まず、初委員会までにお出しいただければと思います。

それから12ページをごらんください。当委員会所管部分の議員提出の政策条例が3項目、そして28年度中に制定・改正予定の条例というのは、そこに記載されているとおりで、特別、大きなものについてはないということでもありますので、スポーツ振興条例が現在はないので、そういった部分についてもどう考えるかということも課題の1つであるという認識をしておいていただければ幸いです。

そして13ページ以降に条例の条文も記載していただいておりますので、ご一読いただきますようお願い申し上げます。

協議事項は以上であります、きょうはそういうことでよろしいですか。

〔「はい」と言う者あり〕

**麻生委員長** 事務局の2人は、変わるのかな。

**事務局** 2人とも留任です。

**麻生委員長** ということで、行財政改革・グローバル戦略特別委員会の志村委員長も一緒でありますので（「副委員長も一緒です」の声あり）、そういう意味で、両方で役割分担をしながらやっていければと思っております。

書記のお2人もよろしくお願ひします。

きょうのところは、これでよろしいですか。

〔「はい」と言う者あり〕

**麻生委員長** この際、ほかに何かありませんか。

〔「なし」と言う者あり〕

**麻生委員長** 別にないようでありますので、これをもって委員会を終わります。1年間、よろしくお願ひいたします。